

# 稲作だより

第3号

令和4年4月26日発行  
山形おいしさ極める！  
米づくり日本一プロジェクト  
西村山農業技術普及課  
TEL：0237-86-8130

## 健苗づくりと適期移植で初期生育の確保を！

**高温経過が予想されます。苗の温度管理、体調管理に気を付けましょう！**

### ○健苗づくり

- ・低めの温度管理、日照を十分に与えて、ずんぐりした丈夫な苗に仕上げましょう。  
※高めの温度管理は徒長苗や老化苗のもと。積極的にハウスを開けましょう！
- ・かん水は朝1回たっぷり。  
※午後3時以降はかん水しない（地温が下がり、根張り不良のもと）
- ・プール育苗は苗が伸びやすく、2葉期以降はハウスを開放して管理しましょう。  
※晴天や高温が続く、水温が極端に高くなったり、水が古くなったら、いっきに交換し、水温を下げて酸素補給を行い、根を健全に保ちましょう。  
※水漏れ等で入水・落水を繰り返すと根張りが不調となり、ムレ苗のキケン有。

### 追肥を行い栄養状態が良い苗を本田に！

- ※稚苗は1.8葉期に、中苗は2葉期と3葉期に窒素成分で1g/箱を施肥。
- ※追肥の有無で移植後の生育が全然違います。色が淡い苗を植えないように！

苗の病害には要注意！ - あなたの苗は大丈夫ですか？ -

異変に気付いたら、普及課、JA等に早めに相談！特に以下の症状に注意！！

病原菌	主な症状	発生条件	発生抑制のポイント
フザリウム	白色～淡紅色のカビが発生	緑化期の低温、湿度の変動が大きい	低温をさげ、適切な温度を保つ 過湿にしない
ピシウム	カビは見えない。出芽後の芽、根の枯死やムレ苗が発生		
リゾプス	種子、芽の周辺に白いカビ、根の伸長停止、葉の黄化	出芽時の高温多湿	33℃以上の高温、多湿にしない
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	第2葉の葉身基部が黄白化、枯死、坪枯れ	高温、多湿	高温、多湿にしない 発生した場合は苗を処分

## ○地力に応じた基肥施用を

- ・4月下旬から5月中旬までの晴天率は約50%です。天候が変わりやすいため、本田作業はゆとりをもって計画しましょう。
- ・圃場内の高低差をなるべく小さくしましょう。圃場が均平であれば、水管理が楽になり生育も均一に近づきます。

### 【基肥施用】

○過剰な基肥は、品質、食味低下のもと。品種ごとの適正な施肥量としましょう。

表 品種ごとの基肥量の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素分量 (kg/10a)	5～6	2～4	4～6	3～4	4～5	5～6

< 最高の「つや姫」「雪若丸」を生産するために >

「つや姫」：食味・品質を優先。昨年、玄米タンパクが高めと感じた方は若干減肥を！

「雪若丸」：標準は基肥窒素4～5kgですが、地力の低い田では6kgとします。

## ○適期移植でスタートダッシュ

- ・田植えの適期は5月15日～20日頃となります。
- ・「つや姫」「雪若丸」を優先して植えましょう。その後「はえぬき」「コシヒカリ」などに移行。
- ・週間天気予報を参考に、低温や強風の日を避けて、田植え後に数日間好天が続く時に行いましょう。
- ・m<sup>2</sup>あたり100本が定着するように植えましょう。

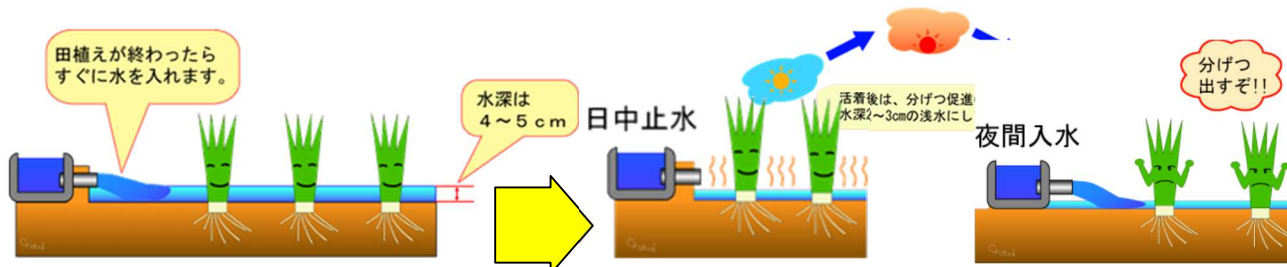
※100本でスタートすれば、6月20日頃には、目標の茎数500本が確保できます！

※「雪若丸」は早めの茎数確保が重要！疎植は全く向いていないので要注意。

<目安> 70株植え ⇒ 4～6本/株 , 60株/坪植え ⇒ 5～7本/株

### ・田植え後の水管理

田植え直後は、4～5cm程度の水深で活着を促進させます。活着後は、2～3cmの浅水管理とし、日中止水・夜間かんがいの保温的管理で、分げつの発生を促進させます。



**STOP! 農作業事故** トラクターの転落・転倒に特に注意！  
春季農作業事故防止運動強化期間（4/10～6/10）  
農薬はラベルを読んで適正に使用しましょう！

⇒ 次号「田植え」「水管理」編は5月7日発行予定です。